



薬の伝言板 てんかん

No. 301 2022年12月

丸子中央病院 薬局

てんかんとは

大脳の神経細胞（ニューロン）は規則正しいリズムでお互いに調和を保ちながら電氣的に活動しています。この穏やかなリズムを持った活動が突然崩れて、激しい電氣的な乱れが生じることによって起きるのが、てんかん発作です。この「てんかん発作」をくりかえし起こすことを特徴とする病気です。



てんかん発作の種類

てんかんの発作は脳のどの部位で過剰に興奮するかによって、脳全体に発生する「**全般発作**」と脳の一部から異常が発生する「**部分発作**」に分けられます。

全般発作の分類

種類	特徴
強直間代発作	意識消失あり。 強直性けいれん（手足を硬く伸ばして全身が硬くなる状態）、間代性けいれん（手足を一定のリズムでガクンガクンさせながらけいれん）を繰り返す（ てんかん重積状態 ）。
欠神発作	けいれん発作は伴わず、数秒間の意識消失（ボーっとする）が起こる。 小児に多い。
ミオクローニー発作	通常、意識障害はない（短い意識障害が伴うこともある）。 体の一部あるいは全体が一瞬ピクッと動く。
脱力発作	突然体の力が抜け、バタンと倒れる。

てんかん重積発作…強直間代性発作を繰り返す。てんかん発作が短時間に連続して起こり、生命の危機が生じる救急の病態。呼吸困難、高熱、心機能低下を伴う。また、心不全、呼吸不全、低酸素脳症などを引き起こす可能性がある。

部分発作の分類

種類	特徴
単純部分発作	意識障害なし。 部分的な手足のけいれん・しびれが現れたり、光がチカチカ見えたり、手がピクピク動く。

複雑部分発作	意識障害あり。 口をもぐもぐする、ウロウロ歩くといった一見無意味な動作を繰り返す（自動症）。
二次性全般化発作	単純・複雑部分発作から電氣的興奮が脳全体に広がり全身にけいれん症状が現れる。

てんかん治療

抗てんかん薬などを使用して、てんかん発作の抑制、特に生活に支障を与える発作の回数をいかに減らせるかが主要な目標となります。



抗てんかん薬の種類

部分発作	全般発作		
	強直間代発作	欠神発作	ミオクロニー発作
カルバマゼピン ラモトリギン レベチラセタム ゾニザミド フェニトイン ガバペンチン バルプロ酸 フェノバルビタール ラコサミド	バルプロ酸 (除：妊娠可能年齢女性) ジアゼパム (てんかん重積状態) ラモトリギン レベチラセタム ゾニザミド フェノバルビタール フェニトイン	バルプロ酸 エトスクシミド ラモトリギン	バルプロ酸 クロナゼパム レベチラセタム フェノバルビタール



てんかん発作は抗てんかん薬を毎日規則正しく服用する、勝手に服薬を中断しない、生活リズムを整えて暴飲暴食・睡眠不足を避けることが大切です。そうすることで発作の消失、発作の回数を減らすことができます。また、早期に適切な診断を行うことも大切です。気になる症状が現れたらすぐに医療機関を受診しましょう。